



# ロータリーの未来は

## あなたの手の中に

2009～20010 年度 RI 会長

ジョン・ケニー

週報

RI2730 地区ガバナー

秦 喜八郎

鹿児島市内分区ガバナー補佐 内田 修友

### 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 山田 忠茂 副会長 堀之内弘昭 幹事 大石 裕一郎

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanre@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanre@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanre.jp/>

第1980回 No.22

平成22年1月7日(木)

本日のプログラム

「新春合同例会」



#### <新春合同例会(会順)>

進行 鹿児島北RC SAA 升金 勲

点 鐘

鹿児島北RC会長 上田 耕平

国歌斉唱 「君が代」

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

乾 杯 (森市長・各クラブ会長登壇)

鹿児島市内分区ガバナー補佐 内田 修友

(会 食)

- |                      |                |       |
|----------------------|----------------|-------|
| 1. ゲスト紹介ならびに会長挨拶     | 鹿児島北RC会長       | 上田 耕平 |
| 2. ガバナー挨拶            | RI 第2730地区ガバナー | 秦 喜八郎 |
| 3. 出席報告              | 鹿児島北RC出席委員長    | 地福 秀逸 |
| 4. 卓話「年頭所感」          | 鹿児島市長          | 森 博幸  |
| 5. 閉会の辞              | 鹿児島サザンウィンドRC会長 | 松田泉   |
| 6. ロータリーソング「手に手つないで」 |                |       |
| 7. 点鐘                |                |       |



#### 第1979回例会報告

##### 副会長挨拶

堀之内弘昭 副会長

本日は本年最後の例会です。山田会長は所用の為不在で副会長の私が挨拶いたします。さて、今年もいよいよ押し迫ってまいりました。1日は24時間の単位で規則正しく動いていきますが、12月を迎えると1年経つのは、あっと

いう間で、今年も残り10日を切ってしまいました。この一年皆様に取りまして色々な出来事があったことと思いますが、我が東南ロータリークラブにとって一番の出来事は「創立40周年」の節目を迎えた事ではないでしょうか。去る5月9日サンロイヤルホテルにおいて姉妹クラブであ

ります台北グランドパークRCより「サム会長以下12名」のご参加を含め、総勢160余名の皆様と共に記憶に残る素晴らしい記念式典・祝賀会を催すことが出来ました。長年に亘って準備してこられた会員の皆様にご心より敬意を表したいと思います。我がクラブは創立40周年を迎えましたが、40年という月日は「不惑」とも言われ「不惑」は「四十にして惑わず」と言われます。次の50周年へ向って一丸となって前進していきたいものです。また毎年12月は「家族月間」ですが、それにちなみ先週15日の例会は恒例の「クリスマス家族会」を開催いたしましたところ、多くの皆様にご出席頂き、オークションやバンド演奏で楽しいひと時を過ごすことが出来ましたことを嬉しく思っております。今期はまた、事務局の突然の退任というハプニングもありましたが、「雨降って地固まる」の諺のごとく、心機一転、アタフタすることもなく、皆様方の協力でスムーズに再出発出来ました。後任の廣田さんにも頑張ってくださいまして、ご支援・ご協力に感謝申し上げますと共に、健やかな新年を迎えられることを記念いたしまして、挨拶と致します。

#### 会務報告

- 新年合同例会の開催のご案内  
日時：平成22年1月7日（木）12：30～13：30  
場所：サンロイヤルホテル2F 太陽の間
- 1月の第2例会について  
日時：1月12日（火）12：30～  
場所：サンロイヤルホテル  
プログラム：会長幹事 新年の挨拶
- 2火会について  
日時：1月12日（火）18：30～  
場所：旬彩 おごう（鹿児島市山之口町6番18号）
- 鹿児島西南RC30周年記念式典及び祝賀会ご案内  
日時：平成22年2月24日（水）  
登録 16：00～  
式典 17：00～18：00  
祝賀会 18：30～20：30  
場所：サンロイヤルホテル  
登録料：会員10,000円
- 12月のロータリーレートは1ドル=90円です。

- ガバナー事務局 年末年始の休業について  
休業期間  
平成21年12月29日（火）～平成22年1月4日（月）

#### 出席報告

会員数	30名	前々回出席者	23名
出席会員	13名	メイクアップ	7名
出席率	43.33%	出席訂正率	100%

#### スマイルボックス

- ☆川崎芳明君—SAAを長い間休みました。来年はまじめに出席します。
- ☆上園哲生君—長期欠席申し訳ありません。12月議会も24日最終本会議となりやっと上期最終例会に出席することが出来ました。

本日計4,000円 累計404,000円

#### 本日のプログラム

【次々年度会長予定者 挨拶】



上園哲生会員

次々年度会長指名の諮問委員会におきましてご推薦を頂き、そして御承認を頂きましたこと大変光栄に存じます。しかしながら二つの懸念を抱いております。一つは今現在の私の例会出席状況が示す様に、自分だけでは日程を決定することの出来ない、年4回の定例議会のことです。どうしても議会出席のため例会出席の叶わないことへの心配があります。更にもう一つが、これまで東南RCに10年以上も在籍させて頂きながら、自らの不勉強でロータリーのことに對する知識が大変不足していることでもあります。ですから会員名簿を何回も見ました。やはり力不足を実感しながらも、順番のようです。頼りは我がクラブには歴代会長経験者を含めて優秀な先輩会員、支えて下さる会員が多くいらっしゃるということです。皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力を心の支えに決意させて頂きます。今少し、時間がありますので、この時間を有効に活かしながらしっかり勉強して、その日に備えたいと思います。宜しくお願ひ致します。

【会員増強プログラム】



沼田常夫会員増強委員長

本日は会員増強について、皆様からご意見や途中経過をご報告いただきたいと思います。年度当初ご案内しましたとおり、増強の大きな柱として早く会員を45名にする。短・中・長期的な計画です。途中経過報告をしていただく。退会防止に努める等でした。

まず、45名という数字はこれまでも会長が申し上げている通り、満足出来るクラブ運営ができるための数です。今年度は80万円程度の赤字でどこからか補てんがなされると思いますが、次年度は大幅な予算の見直しが必要となり、十分な委員会活動ができなくなるのではと予想されます。会費の中から、7.5万円がクラブの運営費として使えますので、赤字を解消するには10人の増強が必要となります。この点も充分ご理解いただけていると思います。

また皆様からも、職業分類で空いている職業にロータリー適任者がいればアプローチを始めても良いのでは、というご意見や何人かの会員の方からは数よりも質をとのご意見をいただきました。これらを考えると、中・長期的なビジョンがどうしても欠かせないと考え、次年度、次々年度の会員増強委員や会員の皆さんと十分な意思統一をはかりながら進めてまいりたいと考えます。

次に皆さんから増強の途中経過についてのご報告、また増強のアイデア・成功例・失敗例等を教えていただければと思います。

1/12(火) 外部卓話 伊藤学面ガバナーエレクト		1/19(火) 会長幹事 新年挨拶		1/26(火) 会員卓話 上原 勝会員	
月/日	クラブ	会場	プログラム(△変更)		
1/13 (木)	鹿児島南	サンロイヤル	第4回クラブ協議会		
	鹿児島西	山形屋	クラブ協議会(上期報告・下期計画)		
	鹿児島南	ゆうづき	クラブ協議会 (会長・幹事下期へ向けて)		
1/14 (木)	鹿児島東	山形屋	会員チャーターメンバー卓話 「ロータリーへの思い」		
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	クラブフォーラム (ロータリー情報・教育研修委員会)		
	千代田	鹿児島東急イン	研修・選考委員会担当		
1/15(金)	鹿児島	山形屋	会員卓話 会員満足度アンケート 結果について・新入会員自己紹介		
1/18(月)	鹿児島中央	山形屋	会員卓話「年男年頭所感」		
1/19(火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	クラブフォーラム (ロータリー情報・CLP委員会担当)		

「友」インターネット速報

○財務状況に関する最新報告(抜粋)

国際ロータリー(RI)とロータリー財団の財務状況は、改善傾向にあります。今会計年度当初から9月までの市場成果により、RIで1,100万ドル、財団では5,800万ドルの投資収益がもたらされました。今後も財務状況の改善が予測されますが、市場は現在も不安定な状態にあります。RIの予備金は、義務づけられた最低レベルを上回る額を維持。財団の予備金は2009年6月末以来、約3,400万ドル増えましたが、目標を大幅に(800万ドル)下回っています。なお、今会計年度のプログラムの運営費や経費のために債券を清算する必要は生じていません。財団の年次プログラム基金への寄付額は今年度第一四半期に落ち込みましたが、これはロータリーの2億ドルのチャレンジに一部起因するものと思われます。ロータリーの2億ドルのチャレンジでは、既に目標額の半分以上が集まっています。管理委員会は、複数の大規模な募金活動により、寄付者に疲弊感をもたらす可能性があることを認識していますが、「ポリオのない世界」という約束を守ると同時に、教育的・人道的活動をできる限り続け、拡大させていかなければなりません。ありがたいことに、多くのロータリアンは両活動におけるニーズの大きさを理解し、財団に惜しみない寄付を寄せてくださっています。

ロータリーのシニアリーダーと事務局職員は、引き続きロータリアンへの支援業務を減らすことなく経費を抑える方法を検討していきます。財務に関する詳細はRIホームページ

<http://www.rotary.org/ja/aboutus/financials/pages/ridefault.aspx>

をご覧ください。 エド・フタ(布田)RI事務総長

